

平成 25 年 11 月 15 日

A 型サポーター委員会（就労部会）現状報告

A 型サポーター委員会
委員長 山田浩三

【これまでの活動内容】

- ・平成 25 年 9 月 5 日（木）…第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会本会議の内容報告ならびに A 型検討委員会発足のための趣意説明（9 月度就労部会にて）
- ・平成 25 年 9 月 19 日（木）…第 1 回運営委員会
- ・平成 25 年 10 月 3 日（木）…第 1 回 A 型検討委員会（10 月度就労部会にて）
Step 1 配布資料に基づいた課題提議 ～ Step2 共感
- ・平成 25 年 10 月 21 日（月）…第 2 回運営委員会開催
- ・平成 25 年 11 月 8 日（金）…第 2 回 A 型検討委員会（11 月度就労部会にて）
Step 2 共感 ～ Step3 創造



これまでに配布した資料

- ・資料① 「就労継続支援 A 型事業所について」…就労部会事務局
- ・資料② 「熊本市の就労継続 A 型事業の現状について」…熊本市障がい保健福祉課
- ・資料③ 「平成 25 年度 第 2 回熊本市障がい者自立支援協議会 報告」…就労部会事務局
- ・資料④ 「障害福祉施策の動向（就労支援関係）」…厚生労働省

【現状考えられる課題】

（事業所運営における課題）

- ・事業収入が低い
- ・利用者の労働時間が短い
- ・生産性が低く、単純作業（B 型と同等の作業）
- ・最低賃金以上の保障ができていない
- ・人的余裕が無い
- ・支援職員の経験不足
- ・企業とのパイプが弱い
- ・一般就労に向けた支援の道筋がはっきりしない
- ・一般就職への就労支援のノウハウが足りない
- ・他機関との連携方法等の仕組みがない

- ・一般就職への就労支援の目的が意識されていない
- ・就職後の定着支援が不十分
- ・事業の生産性と一般就労へのジレンマ

(利用者への影響)

- ・経済的自立への収入が得にくい(最低賃金×4時間が主。週30時間未満の事業所が7割を占める)
- ・よって、社会保険(健康保険・厚生年金)の未加入者が多くなる
- ・雇用保険未加入の実態もあり
- ・希望する就労訓練、福祉的支援が十分に受けられない
- ・適切な能力評価(賃金評価)がなされていない
- ・自立に向けての情報量が不足しており、将来の目標設定ができない
- ・一般就労後も仕事を続けられるか不安を感じる

(公費支出の適正化)

- ・事業収入が少なく、訓練等給付への依存度が高い

(制度上の課題)

- ・就労継続B型と同じ職員配置(7.5もしくは10:1)、基本報酬単価(定員20人以下585単位/日)
- ・就労支援員の配置…現在は未配置
- ・就労移行支援体制加算の適正化…(26単位/日)

大きくまとめると、以下の5点に絞られるかと考えられます。

- ①事業収入
- ②賃金
- ③事業所運営
- ④人材育成
- ⑤就労実績

【事業所のニーズ】

- ・手続きや書類等に関するもの
- ・就労に関する支援
- ・人材育成や人材確保
- ・仕事の発注など
- ・助成金等の金銭的支援

今後に向けて

【課題解決に向けて話し合う内容は?】優先順位をつけて、できることから始めよう!

A型サポート委員会では、以下の4つのことについて、検討ならびにサポートできればと考えます。

- ①人
- ②モノ
- ③お金
- ④情報

《考えられる内容》

①人について

- ・教育研修、人材育成
支援技術、計画・記録・会議・相談・請求、経済活動（商品・サービス）

具体的アクション（例）

- ・次年度就労部会主催の大研修会テーマ
- ・サビ管トークセッションの開催
- ・サビ管実務者研修（インフォーマル開催）
…A型事業所の役割とは？、アセスメントについて、個別支援計画作成、請求業務など
- ・先進的な障がい者雇用企業（特例子会社、一般企業など）を合同見学
- ・〇〇障がいに関わる方への就労支援セミナー（身体・知的・精神・発達・高次脳・難病）
- ・個々人の適性に合った職場配置と生産性向上のための支援技術に関するセミナー
- ・経営セミナー（人事労務、コーチング）
- ・SNSの活用…掲示板、チャット、スカイプ

②モノ（サービス）について

- ・商品開発、販売戦略、共同受注

具体的アクション（例）

- ・商品開発セミナー
- ・事業別ワークショップ
- ・ブランド戦略セミナー
- ・ワークシェアリング → 自治体契約以外で、民間ベースにおける“新たな働き方”を構築
- ・販路拡大に向けた共同体づくり…くまもとの事業所全体をブランド化する。自主的な基準を設置
- ・各種展示会やコンクールへの出品参加
- ・商品コンテスト → （例）くまもとスイーツ甲子園

③お金

- ・助成金の活用。給付等に対する要望の吸い上げ、行政に対する提言

具体的アクション（例）

- ・助成金活用セミナー…ハローワーク、社労士等による
- ・平成25年度A型事業所アンケート調査の実施

④情報

- ・広報活動、利用者確保、事業所紹介、製品・サービス紹介、ベストプラクティスの共有

具体的アクション（例）

- ・平成26年度版「熊本市障がい者就労支援ガイドブック」の発行
- ・熊本市のホームページを活用した情報発信

今年度の活動内容（予定）

現在、就労部会（福祉計画班にて）市内の A 型事業所 34 箇所を対象としたアンケート調査を実施中です。アンケートの設問には、今後の A 型事業所間の連携についての設問も含まれています。

問 26. A 型事業所間での運営改善や問題解決を話し合える場があれば参加してみたいと思いますか？

- ① はい ② いいえ

問 28. どのような内容について話し合いたいですか？

- ① 職員のスキルアップ ② 共同での商品開発 ③ 共同受注 ④ 事業所運営
⑤ 利用者の支援方法 ⑥ 一般企業等への販路拡大 ⑦ 事業所間のネットワーク構築
⑧ その他（ ）

A 型サポーター委員会では、年度内のセミナー開催に向けた活動を企画・予定しています。最終的には、平成 26 年 2 月開催の本会議にて最終報告を行う予定です。

<プラン 1> セミナー開催 対象者：就労継続 A 型事業者

上記アンケート結果等を参考に、

① A 型事業所の担当者（サービス管理責任者を想定）が集まる機会を設けます。

↓

② 就労支援セミナー（内容はアンケート結果に基づく）や各事業所での取り組み報告などを行います。

↓

③ セミナー終了後は、グループに分かれて情報交換会を行う予定です。

<プラン 2> セミナー開催 対象：相談支援事業者

相談支援事業所の担当者の方にも、計画相談等の際、ご本人に対する一般就労への意欲を高める働きかけについて更に行っていただけるようセミナーの開催を考えています。

① 就労支援セミナーの開催

（例）就労支援のプロセス説明、アセスメント、各支援機関との具体的な連携事例などの紹介

※ 今後は、次年度以降についても継続的な活動を通じ、最終的には各関係機関にご協力をいただきながら、A 型事業所間のネットワーク構築に向けたサポートを実現できればと考えます。→ A 型事業所協議会（仮称）の発足。

実現すれば、さらなる福祉サービスの質の向上や、サービス利用者の利益につながるものと考えます。関係各所の皆様のご協力、何卒よろしくお願い致します。

以上